

2014年度 京都府立医科大学

# 麻酔科後期研修医募集

京都府立医科大学

麻酔科学教室

京都市上京区河原町広小路上る  
梶井町465番地

TEL 075-251-5633

FAX 075-251-5843

Email: [anesth@koto.kpu-m.ac.jp](mailto:anesth@koto.kpu-m.ac.jp)

<http://anesth-kpum.org/blog/>

 Kyoto Prefectural University of Medicine  
Department of Anesthesiology



麻酔周術期管理医学 PERIOPERATIVE CARE MEDICINE

[HTTP://ANESTH-KPUM.ORG](http://anesth-kpum.org)

21世紀に相応しい新しい麻酔科学「麻酔・周術期管理医学」の構築に参加しながら、充実した後期研修を千年の都、京都で体験してみませんか？



これからの麻酔の領域は、「麻酔科」というような言葉で

は、もうフィットしなくなっています。今、「麻酔・周術期管理医学」を確立してゆくために、再構築が必要です。医療安全、労働環境などを含めて、20世紀の医療制度にメスをいれ、新しい時代にフィットした後期研修プログラムを用意しています。心臓麻酔や周産期麻酔、救急医療、集中治療、ペインクリニックの修練を積みながら、麻酔術前術前外来 (PAC: Preoperative Anesthesia Clinic) や術後疼痛サービス (POPS: Postoperative Pain Service)などの新しい流れを習得

していくことが、新しい時代に相応しい能力を習得する上で重要です。可塑性のある若い世代の君たちが、その改革実践の主役です。



# 医局紹介



## 京都府立医科大学 麻酔科学教室

国際的な臨床・教育・研究環境構築を目指し、  
質の高い「麻酔診療」を実践します

京都府立医科大学麻酔科学教室は、昭和40年に麻酔診療部門として開設されて以来、今日までの約45年間に診療部門として手術麻酔部門に加えて、重症患者の集約的な管理を行う附属病院集中治療部門・小児集中治療部門を設立し、また痛みを制御する附属病院疼痛緩和医療部との設立連携を含めて一教室複合診療講座として発展してきました。関係病院は京都・滋賀・大阪・兵庫を中心に38病院あり、教室同門会に所属する会員数は220名と、全国でも屈指の大きな規模です。

### 【教室の活動】

#### 1. 臨床

●手術麻酔部門：中央手術室にて年間約4000件以上の手術麻酔に対応しています。心臓外科、小児心臓外科、肝移植、小児外科などの手術の麻酔に対応しています。

●麻酔術前外来部門：2010年9月より新たに術前外来部門を開設し、麻酔科が管理を行う緊急手術を除くすべての症例の術前評価やインフォームド・コンセントの取得をこの外来部門に集約いたしました。

●集中治療（成人・小児）部門：1979年に小児集中治療室（PICU）が開設されました。また成人の集中治療部門では、これまで20年以上に渡り、心臓手術後の術後管理や、急性呼吸窮迫症候



群や敗血症性ショック患者などの重症患者管理を中心に運営されてきました。

●ペインクリニック・疼痛緩和：ペインクリニック・緩和医療は、麻酔科学教室から発展し、平成22年度に診療部門として疼痛緩和医療部に集約され、疼痛緩和ケア推進に大きな役割を果たしています。

2. 研究：研究分野では、麻酔・集中治療・疼痛管理に関する医療の質を向上させるための臨床的・基礎的研究を幅広く実践しています。

●急性痛のメカニズム・制御に関わる研究：術後疼痛過敏のメカニズムやその制御の方法について、動物モデルを中心に研究を推進し、新しい知見を臨床へフィードバックしていくことを目標としています。

●周術期の血小板・血液凝固に関する研究：心臓手術における人工心肺などの影響を中心に、周術期の各種のストレス反応が血小板機能や血液凝固能に与える分子制御メカニズムや新しい治療法についての臨床・基礎研究を推進しています。

●急性肺傷害・敗血症に関する研究：グラム陰性菌による重症肺炎、急性肺傷害、敗血症の病態メカニズム、それらに対する新しい治療法の開発に取り組んでいます。とくに多剤耐性菌感染に対して、免疫を賦活する治療法開発を重視しています。

3. 後期研修：京滋・阪神地区にある25の関係病院群と共同で後期研修システムを構築し、個々の研修医師のニーズにあった様々な研修コースを柔軟に設定し、幅広い経験が得られるようにしています。詳しくは、後期研修ウェブサイト <http://residency.anesth-kpum.org> を御覧ください。

### 【教室の展望】

麻酔科の根幹となる仕事は臨床麻酔です。患者・医師の人間関係を重視する「麻酔診療」を実践していくことを教室の主軸として考えています。質の高い麻酔診療の実践を基礎に、それらの臨床技術を応用して集中治療やペインクリニック・緩和医療にも診療を積極的に展開して行く所存です。

### DATA

京都府立医科大学 麻酔科学教室

所在地：〒602-8566

京都市上京区河原町通広小路上 梶井町465

URL： <http://anesth-kpum.org>

E-mail： [anesth@koto.kpu-m.ac.jp](mailto:anesth@koto.kpu-m.ac.jp)

構成：医局員数／38名、指導医数／15名、

研修医数／常時4-5名